



非線形理論とその応用

特集編集にあたって

編集チームリーダー 櫻田英樹

本会の第5番目のソサイエティとしてNOLTA ソサイエティが2014年10月に発足した。NOLTA ソサイエティは非線形理論とその応用(NOLTA: Nonlinear Theory and Its Applications)について調査研究を行うソサイエティである。ソサイエティ発足に至る経緯は会誌2015年1月号記事「NOLTA ソサイエティの発足」に述べられている。筆者はNOLTA ソサイエティの成り立ちを直接知る立場にはないため、ここでは会誌記事を基に御紹介することをお許し頂きたい。ソサイエティの源流は1951年に発足した非直線理論研究専門委員会(NLP)であり、その後1970年に非線形問題研究専門委員会へと発展し、1995年からは基礎・境界ソサイエティの中にNLPを中核としたNOLTA サブソサイエティが設置され、2014年のソサイエティ化に至る。この発展の原動力の一つは1990年から毎年開催している国際シンポジウムであり、若手研究者が世界に出ていくきっかけともなっている。また、同シンポジウムで培ったパイプを基に、2010年から英文論文誌を発刊した。このような国際的な取組みを通じて研究者同士の国際的な輪ができていく様は、本特集記事「Nonlinear Connection: How We Created a World-wide Ring of

Researchers」にもその雰囲気が表れている。ソサイエティ化によりこのような活動が更に発展することが期待される。なお、NOLTA ソサイエティの活動についてはソサイエティのWebページ(<http://www.ieice.org/nolta/>)にもまとめられているので、是非こちらも御参照頂きたい。

本特集では、NOLTA ソサイエティの発足を記念して、NOLTA ソサイエティの広範にわたる研究分野から一般会員が興味を持つと思われる内容を取り上げた。非線形の理論と応用がエレクトロニクスや通信など、本会の様々な研究分野と深い関わりがあることを御理解頂き、NOLTA ソサイエティの活動に興味を持って頂ければ幸いである。

本特集の企画・編集にあたっては、全体の構成から著者の皆様への執筆のお願いを含め、全面的に大石進一氏(早大)に多大な御尽力を頂いた。深く感謝申し上げたい。また、大石氏には1章「総論」で本特集全体の概要も御執筆頂いた。全体概要についてはこちらを参照されたい。

末筆ながら、御多忙の中御執筆頂いた著者の皆様、本企画を進めるにあたり御協力頂いた編集チームの皆様、並びに学会事務局の皆様へ深く感謝申し上げます。

特集編集チーム

櫻田 英樹	大石 進一	千葉 英史	定兼 邦彦	加藤 豪
河辺 義信	小澤 佑介	清水 俊宏	杉野 暢彦	橋 昌良
辻川 剛範	中村 祐一	野村 英之	日高 昇平	前田 充
松本智佳子	茂呂征一郎	和崎 克己	渡辺 哲也	和田 友孝